

1. 概要

令和6年度第76回春季代議員会第10号議案内にて意見発表会における審査基準と配点について意見集約を行う旨の議案が承認された。7月1日～8月16日にかけて日本学校農業クラブ連盟ホームページ内にてアンケートフォームを通じ、単位クラブごとにアンケートを実施し期日までに79件の回答が得られた。

2. アンケート結果

(1) 現行の審査の合計が70点満点であることについて

回答	回答数	割合
70点満点が良い	52	66%
100点満点が良い	22	28%
その他	5	6%

(2) (1) でその他と回答した理由について

- ・合計点はともかく、審査項目ごとの点数を統一していただきたい。
- ・5点の項目や15点の項目があるとその場で確認しながらになってしまうので、全て10点ずつにして頂きたい。
- ・合計点にはこだわらなくても評価項目を増やしたり、評価しやすくしたりすることが必要。
- ・なぜ70点満点になったのか意図を知りたい。その意図、経緯を知ってから変更した方がよいか考えたい。意図、経緯がわからないのであれば、100点に変更してもよいと思う。
- ・採点基準に基づき、審査を行うので、どちらでもよい。
- ・各審査項目の配点について整理されているのであれば、必ずしも100点満点でなくてもよい。

(3) 配点、発表内容と発表方法の比率について

回答	回答数	割合
現行の1:1が良い	57	72%
プロジェクト発表と同等が良い	14	18%
その他	8	10%

(4) (3) その他と回答した方の詳細について

- ・発表内容に重点を置いた配点が良い。
- ・当日の内容次第で決定する方がよいので、発表内容1:発表方法2と差をつけた方がよい。
- ・上位大会になると、発表方法による点数の差はつけにくいと思います。プロジェクト発表会ほどではありませんが、発表内容の審査項目に、もう少し重きが置かれるような配点だと、よりクラブ員1人1人の意見を評価できるかと思います。
- ・発表内容や発表方法の評価項目が増えれば差をつけやすくなるのではないかと。しかし、それでも大きな差をつけられないのであれば、内容のウェイトを大きくしてもよいのではないかと。
- ・発表方法よりも、発表内容に重きをおいた配点の方がよいのではないかと。
- ・発表方法の審査項目－3（質疑応答）に対する配点を高くしてもよいのではないかと。
- ・意見の内容が重要なので、プロジェクト発表会に近い採点にしたほうが、意見発表会の趣旨に合ったものになると思う。

※その他具体的な配点案についてご回答を3件頂きました。参考にさせていただきます。

(5) その他、意見発表審査基準についてご意見について

- ・分野の内容と一致していない発表が見られる。分野の適切な運用を評価する項目が必要だと感じる。
- ・発表分類に適しているかの項目があるとよい。
- ・発表の上手さを競うのではなく、内容を評価すべき。
- ・発表方法の特殊なものは審査基準で否定されているが、特殊ではないが過度なパフォーマンスが評価につながっている様に見受けられる。”
- ・発表の仕方、テクニックも重要なポイントだと思います。
- ・審査は難しいと思いますが、このままでよいのではないかと思います。”
- ・発表のテクニックを重視するのではなく原稿の内容を重視した発表会でありたい。
- ・自分の意見を伝える場であり、一字一句完全に暗記することが良い発表とは言えない。多少の間違えは順位に反映されないように内容を重視していただきたい。”
- ・内容 7 : 3 方法が良い
- ・内容重視の方が良い
- ・点数だけ見たら 100 点にしてもよいとは思いますが、どの項目を上げるか考慮する必要がある。また、減点点数も上げるべき。
- ・全国大会のレベルであれば、発表方法の評価がほぼ横ばいになるのは仕方がないのではないかと考えます。
その中で、時代の背景や、今後の農業生産の動向を鑑みて、内容で多少の差が付くかと思ひますし、プレイスナンバー方式で審査すれば、順位はつくと思ひます。それでも判断が難しい場合は、やはり審査委員長に熟考していただくしかないのではないのでしょうか？
- ・審査員だけでなく、指導する教員、発表する生徒にとってわかりやすい審査基準であることが望ましい。また、審査員の好みや主観によらず、客観的に判断できる基準を検討していただきたい。
- ・出場分野と内容が一致していない発表があるため、それについても点数化するべきではないだろうか。
- ・時間超過の場合の原点をもう少し上げたほうが良いと思ひました。
- ・現状の意見発表では、審査結果（点数）に大きな差が生まれず、僅差になってしまうため、プロジェクト発表と同様にし、発表内容に重点を置いた配点に変更すると点数に差がでやすく、評価しやすいのではないかといい意見がありました。
- ・減点項目の誤字脱字が必要であることを検討した方が良く思ひます。
- ・原稿の誤字、脱字に関する減点基準を明確にしていただけると助かります。
- ・熊本県大会で審査員を担当した本校職員に伺ったところ、県大会では点数の差がはっきりと出て、スムーズに評価できたということでした。100点満点にすることで審査項目を増やすということになるならば、7分間で評価することが難しいという意見がありました。
- ・近年の意見発表では、表現方法を工夫され、過度なパフォーマンスも見られるように感じる。しかし、「発表中の特殊なパフォーマンスを評価するものではない」と明記されている。発表方法の配点についても、「発表方法」と「意見が分かりやすく、聴き手に良く理解されていたか」を分けられており、5点と15点と配点割合も大きく違う工夫がなされている。このことから、現状の配点での審査をすることで、パフォーマンスでの配点はなされない構造となっており、妥当であると思ひます。
- ・外部審査員にも解りやすいようにした方が良く思ひます。例えば、意見発表大会は発表者個人の体験が重視されるので、その点が明確に解る審査項目に文言を改めるなど出来たら検討願ひます。
- ・意見発表会でのエントリーシートはなくて良い。発表原稿が審査員に届くのであれば、その中に必要な情報は記入されていると思ひます。(例えば、どのような授業で学習し、どのような事を考えているか。など) 逆に、その部分が不足している発表は必然的に点数が落ちるのではないかと。

- ・意見発表は、内容より演劇のような発表をする生徒のほうが、評価が高くなる傾向があるので、発表方法の比重を上げないほうが良いという意見が多かった。
- ・分野の取り扱い方で、「食品製造や食品流通」を抜かずに入れていただきたい。大阪府は食品系のクラス数が一番多いので。意見発表とプロジェクト発表を揃えた方がわかりやすいのではないかと思います。
- ・プロジェクト発表と意見発表は、違う競技のため、配点も合計点も同じにする必要はないと感じます。
- ・プレイス・ナンバー方式について、多くの教員が理解する必要があると思います。
- ・エントリーシートを廃止した方がよい。
- ・エントリーシートの誤字脱字についても、発表原稿と同様に審査対象とした方が良いと思います。
- ・70点満点よりは、100点満点の方が分かりやすいという意見が多かったです。100点満点に変更した方が、順位決定の際に差が出やすくなるので、プレスナンバー処理が容易になると考えられる。
100点満点に変えることができるのであれば、プロジェクト発表会同様、内容の配点をあげてほしい。
- ・発表のパフォーマンスよりも、活動の内容を評価してほしい。
- ・もし70点を100点にするならば、現在の配点の比率を保つように8項目に振り分けた方が良い。
- ・実績発表大会も同様だが、分野に則した内容かどうかを判断する審査項目がないので加えてほしい。
- ・プロジェクト発表と意見発表会の目的を比較すると、プロジェクト発表会は、「日頃のプロジェクト活動の成果を発表し・・・目的とする。」に対し、意見発表会は、「クラブ員の・・・抱負や意見を交換し・・・目的とする。」となっている。そのため、意見発表会の交換について得点化するのであれば100点満点にしても良いと思います。今後も意見発表会について、意見の交換をしないのであれば、目的を交換ではなく、発表に変更した方が現状に合っていると思います。
- ・発表内容を重視すべきと考える。
- ・発表方法③は必要ないのではないかと考える。
- ・(提出期限に合わせてスケジュール管理、提出するのが大前提だと理解している) 事前資料の提出について、ギリギリまで完成度の高い原稿を目指している中で、期限間近に気象等による送付トラブルが起きた際、空路・航路(また停電等による通信不能になることがかんがえられる)による提出や提出に向けての日程調整が難しくなることが想像される。先述の理由から期限に届かないことで審査の影響(減点等)に繋がることについては、最低限の緩和的措置を認めてもらえないだろうか(データ先行提出、紙原稿資料遅延提出、減点なしなど)。